



運動能力に関する調査

- 平成 29 年度の合計点との比較では、小学校の男子・女子と中学校の男子は同程度、中学校の女子はやや上回った。
- 全国でも上位の県平均との比較でも、小学校の男子・女子と中学校の男子は同程度、中学校の女子はやや上回った。
- ・各学校で、体力調査の結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行い、また、児童生徒の生活習慣や運動習慣の改善、バランスのとれた体力向上を目指して「1 学校 1 取組」を実践している成果が表れた。
- ・特に、本市の課題であった中学校女子において、大きく数値が伸びた。 (P 2)
- ・小学校では、握力や上体起こしが男女ともに県平均と同程度だった。力強さを発揮するための筋力は、概ね身に付いていることが分かる。 (P 3、4)
- 中学校では、長座体前屈や立ち幅とびが男女ともに県平均をやや上回った。体の柔らかさを支える柔軟性やすばやく動くための瞬発力が身に付いていることが分かる。 (P 5、9)

【実技合計点】

	小5男子	小5女子
H29 燕市	56.6	57.8
H30 燕市	56.7	58.8
県	56.9	59.1
全国	54.2	55.9

	中2男子	中2女子
H29 燕市	46.6	53.2
H30 燕市	46.7	56.2
県	45.2	53.1
全国	42.3	50.6

【上体起こし】

	小5男子	小5女子
H29 燕市	20.9	19.2
H30 燕市	21.1	20.6
県	21.0	20.0
全国	20.0	19.0

【長座体前屈】

	中2男子	中2女子
H29 燕市	47.9	50.7
H30 燕市	50.0	51.9
県	46.4	48.7
全国	43.4	46.2

運動習慣等に関する調査

- 生涯にわたって運動に親しむためには、小・中学校で運動の楽しさに触れることが大切である。小・中学校の女子で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」と感じる児童生徒が増えるような取組が、今後の課題と考えている。 (P 11)

【運動やスポーツが好き】

	小5男子	小5女子
H30 燕市	95.2	84.1
県	93.7	87.5
	中2男子	中2女子
H30 燕市	90.9	75.8
県	89.3	77.3

今後の取組

- 体力・運動能力、運動習慣などの改善に向けては、課題とその改善に向けたポイントを示すなどして、体力向上や健康の保持増進に努めます。
- 体育授業や体力テストにおいては、児童生徒が自らの目標を達成し、運動に自信をもって次の目標に挑戦することができるよう、個に応じた指導の積み重ねに努めます。
- 児童の体力向上プログラムにおける「ヘキサスロン」については、教職員研修を通して、その効果や正しい活用方法、授業への取り入れ方などについての理解が更に深まるように努めます。